

社員の声

私は新卒で訪問看護師を志しました。一人ひとりの患者様と向き合い疾患だけでなく、その人の生活背景を考えながら看護をしていくのは訪問でしかできない経験だと思っただけです。ただ、知識や技術は未熟であるため、入社した当時は大きな不安がありました。

しかし、先輩方が優しく接してくれて、仕事に慣れるまで同行し指導していただいたのでとても心強く感じていました。困った時でもすぐに相談できるので、安心して訪問することができ、入社して半年で25件ほど回れるようになりました。

仕事以外の休憩時間などでも声をかけていただき、訪問を終え事務所に帰ってくると、ほっとした気持ちになれるのがいいですね。

看護師だけではなく、リハビリスタッフやケアマネジャーの方なども在籍しているため、多職種の連携が密にできることも弊社の特徴だと思っています。

新卒や経験が浅い中での訪問看護は、多くの人が不安になると思います。でもそれ以上に、病院では見られない在宅だからこそ見える看護の視点がたくさんあると思います。

ご興味ある方はぜひ一度ご見学にお越しください！

(1年目の現場より)

看護師
大野 莉奈
2021年7月入社 蒲田配属



入職して驚いたことがあります。それは社内の雰囲気が良いことです。一緒に働くスタッフはとも感じ良く、気持ちよく一緒に働いています。

また、在宅STが気になる訪問診療の医師との連携の良さにも驚きました。どうしても、電話でご相談することが多いのですが、どの訪問診療の先生もとてもやさしく困ったことや相談事にも丁寧に応えて下さいます。在宅でのリハビリは病院などとは違って、環境が限られていないため、どのご利用者様もその人らしくイキイキと生活されています。訪問リハビリは、そんなその人らしい生活に携われる仕事です。

さらに、弊社ではリハナースといって、ナースも簡単なりハビリを代わりに行ってくれます。在宅リハビリでは介入できる回数に限られています。他の日にナースが伺うことで、リハビリの頻度が増えることになりそうです。そのため、よりクオリティの高いサービスが行えて、ご利用者様についての話し合いもよりスムーズにできます。

(11年目の現場より)

言語聴覚士
長谷川 敦子
2011年5月入社 用賀配属



職場見学で実際に雰囲気を感じ、入社を決意しました。

それでも入社した時の不安は8割でした。訪問看護に対して分からないことが多すぎて不安なんだろうな、分からないことがなくなれば不安も解消するはず。介護保険の勉強をすれば何とかかなる!!と思っていました。

管理者や看護部長にこまめに連絡を取り、フォローやサポートをしてもらったので安心して訪問できました。今では、利用者様の自宅に行くのが「私を待っていてくれる」ようで嬉しいのです。

病棟勤務では、担当する患者様が7、8名と数秒の処置で終わることもありましたが、今はご利用者様のできることで徐々に増えていくことも嬉しいですが、それ以上に関係性がより深くなっていることに喜びを感じています。

訪問看護はまだ経験が浅いですが、今は桜台訪問看護ステーションの管理者として、雰囲気作り(よく笑うこと、皆に声をかけすること)を心がけていきます。

看護部長や他ステーションの管理者にも相談できるので、失敗しても「はい、次」と切り替えて日々頑張っています。

(2年目の現場より)

看護師 管理者
小林 桃子
2021年4月入社
桜台訪問看護管理者

